

2022年11月11日

各 位

上場会社名 株式会社 名村造船所
代表者 代表取締役社長 名村 建介
(コード番号 7014 スタンダード市場)
問合せ先責任者 取締役兼常務執行役員経営業務本部長 向 周
(TEL 06-6543-3561)

2023年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年11月11日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表した2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期業績予想の修正

(1) 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する当期 純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|---------|---------|---------|-------------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 115,000 | △ 500 | 1,000 | 1,000 | 14.48 |
| 今回修正予想(B) | 125,000 | 9,500 | 11,000 | 11,000 | 159.18 |
| 増減額(B)-(A) | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | - |
| 増減率(%) | 8.7% | - | 1000.0% | 1000.0% | - |
| (ご参考)前期実績 (2022年3月期) | 83,423 | △ 9,532 | △ 8,244 | △ 8,419 | △ 121.88 |

(2) 業績予想修正の理由

当社グループの中核事業である新造船事業において、未ヘッジ外貨の円換算レートを期初公表時（2022年5月13日）に想定しておりました1米ドル当たり120円から1米ドル当たり135円に見直したことによる増収効果とグループ一丸となって取り組んでいる原価削減活動の成果を業績予想値に織込み、為替動向とともに今後の重要な懸念材料である鋼材など資機材価格の上昇は、資機材メーカーの協力と調達戦略の見直しにより回避可能と判断した結果、当期において未竣工船を対象とした工事損失引当金に多額の取り崩しが見込まれることから、当期業績予想値を期初公表値から大幅な増収増益に修正するものであります。ただ、2023年3月期通期業績予想数値は、本日別途公表いたしました当第2四半期連結累計期間の業績における未入金かつ未予約のドル建売上高の円換算為替レートおよび工事損失引当金に適用された円換算為替レートに比べれば保守的なレートを適用したため、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益が第2四半期値より下回る数値になりました。なお、2023年3月期売上計上予定の対象となる未ヘッジ外貨は、247百万米ドルとなります。

2. 期末配当予想について

2023年3月期の配当につきましては、期初公表のとおり未定とし、グループの経営体質改善を最優先に株主の皆様への還元も検討いたしたく存じます。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上